

18年12月20日 天守閣部会(名古屋市民オンブズマンによるメモ)

10時 司会 蜂谷主幹

西野所長 おはよう

年の瀬ありがとう

事業について実施設計を進めている

屋根の仕様 お伺いしたい

蜂谷 出席者紹介

事務局紹介

資料確認

瀬口 報告を

竹中 資料1

防災計画では同時最大2500人としている

階段 均等か史実に忠実か

→史実に忠実な割付で実物大試験をする

襖?別添1

外側舞良戸 内側襖

提示資料は復元原案か復元案か→わかりやすく

スケジュールを→別添1-2

復元原案と復元案

石垣詳細調査が2019年3月にまとまる

検討が長引いたら来年7月まで

階段モックアップは来年10月

川地 2点

防災計画ピーク時2500人

理解している

安全に避難できる

平準化して9時-17時 20000人収容できる

収支計画に関わる 名古屋市

平成28年調査 金曜土曜

平日は9時から5時まで平準化

土曜日は2-3時 午前中の2倍来る

収支計画 年間360万人

平日 6000 人 休日 20000 人

平準化しない

20000 人収容が厳しいのではないか

2500 人 9 時—5 時平準化可能→過去実績からすれば厳しいのでは

在館時間 30—40 分 可能

在館時間 1 時間は可能

土曜日曜 20000 人 ピーク時 2500 人だと厳しいのではないか

襖 昭和実測図 襖なのかな？

前回言わなかったが、理由 2 つ

慶長 17 年 4 月 家康が棟梁に「うちすまいは無用」

襖は住まいの象徴

昭和 16 年 国宝 10 年書籍

解説があつて、部屋の境は舞良戸であつた

昭和実測図を見れば襖なのかな？

瀬口 他には

麓 別添 1—1—1

画題の記載がないので無地→不明

瀬口 書き直して

復元案と復元原案の位置付け

竹中案ではなく名古屋市案を決める

復元案が出ている

認識

この検討会議で了承されるものでよいか所長

西野所長: 先生方にご意見いただいている

名古屋市としての案を提案して承認してもらっている

瀬口: 工程表 1—2

全体との工程との関係が書いていない

実施設計が終わるのはいつか？

ここだけ取り出してかくのはまずくないか

穴蔵部分 基本設計で未定

実施設計段階のどこに入って来るのか

その辺がわからないと全体がわからない

蜂谷:石垣部会との話の結論が出ていない  
どの段階で穴蔵部分ができるか出せない

瀬口:一回出して決まらないかもしれない

古阪:石垣部会の議事録を全て読んだ

石垣部会、市は何をやりたいのか

地球変動

基本的価値、歴史的価値

天守閣を立て直して楽しむんだ

石垣部会として決着をしないといけない

天守閣部会も決着

タイムライン

止めてしまっただけで検討し直すのが正しくなる

この部会も結論が出ていない

一方で、名古屋市民が楽しむ

膨大な金を使っている

市、市長が相談してやってほしい

スケジュールリングだけを検討するワーキングがあっても良い

西野所長:スケジュールご心配をおかけしている

石垣 石垣部会から調査が十分ではない

穴蔵 我々の中で検討し、報告していこうとしている

穴蔵部分スケジュール 目処を立てて先生方々に示したい

瀬口 2年経っている

目処が立っていないのではないかと

西野:7月文化庁目標

不十分と指摘があった

次回できるかわからないが頑張る

古阪:石垣の何が問題か

復元とどう関係があるか

具体的にやらないと  
全体 歴史的  
失敗に近づく  
天守閣の復元にどう関係するのか  
関係があれば解決  
「この中でなんどもやっているのではないか」石垣部会  
ブレイクスルー  
発注者支援 勇気を持って指摘を  
決着  
基本協定 だんだんと怪しくなって来た  
スケジュールリング 何が問題か  
平行でできるのか、技術的順序が決まるのか 議論が進まない

西野所長: 石垣 全体をどうするのか しめしていないと文化庁の許可が得られない  
石垣部会から北面のはらみ危険  
検証検討が不十分  
今日は恐縮だがもう少し詰めて もう少し明確なスケジュールを

古阪: はらみ まだ 全部かきだして  
いつまでに解決するのか  
穏便な発言では決着しない  
文化庁了解 問題だと書いて、誰が解決するのか  
記者も市民も理解できない  
はらんでいるのは2年前  
石垣部会なのか、市なのか、文化庁なのか  
わかるようにしないといけない  
私はプロジェクトのやることのプロ

西野: ごもつとも  
石垣の問題 石垣部会の中で整理しないといけない

瀬口: 文化庁の許可がもらえないのはなぜか  
ネックがそこならどうやって解決するのか  
石垣検証 どういう点が整理して  
来年7月 文化庁がまた受け取ってもらえない  
乗り越えるべくやってほしい

蜂谷さんか所長か

西野: やる

古阪: 応援団だから

市民が愛せる名古屋城を見てもらう

瀬口: 馬出しは解体している

市民に説得できる資料を出さないといけない

10:40

瀬口: 木材調達

竹中: 柱・梁

木曾ヒノキ

マツ

ケヤキ

ベイヒバ→国産 月山松

国産材で調達

ヒノキ 年度内に6割

マツ 年度内に5割

ケヤキ 年度内にすべて

ベイヒバ 国産材を検討

川地: 現状 ヒノキ 過半を5階の柱

なぜ木曾のヒノキを使わないといけないか

名古屋市誌資料編 裏木曾 山守していた内木家

庄屋に指示があつて伐採命令がでた

天守閣の材の本数 38000本

25000本を裏木曾から出した 約66%

熱田の木 受け取りリスト

トータル 38000本 9700本がマツ

残り 28000本がヒノキ、サワラ

ほとんどが裏木曾

元和元年 表木曾も尾張藩の領地 尾張藩に住み着いた

木を使って物作りをはじめた

愛知名古屋の物作りの原点と理解している  
他の藩と違って潤った  
木造 木曾の材を使うのは当然  
コスト、工程 ない限りは5階の柱といわず、  
現地の方 材はあります  
民有林はあります  
大変かもしれないが、木曾のヒノキを使ってもらえないか

瀬口: 竹中が努力している  
名古屋城総合事務所の認識を

西野: プロポーザルに基づいて契約  
公募の時点 原則国産材で  
竹中に国産材でお願いしている  
木曾ヒノキをとはいえないところ  
築城に木曾ヒノキが大変深い関係  
先生方からこういった指摘があった  
竹中と話をする中で伝える  
今日の報告 木曾ヒノキを出来るだけ使うと聞いている  
必要がある場合、名古屋市としても協力したい

瀬口: プロポーザルは公募条件 拘束されない

西野: 契約としては木曾ヒノキとはなっていない  
原則としては国産材  
歴史的 経緯

瀬口: 名古屋市がお願いしないと  
認識が違っているということか

西野: 総合事務所としては、木材は大量に必要  
木曾ヒノキはむずかしい  
出来るだけ国産材で  
本丸御殿作った時、経緯を勉強し木曾ヒノキが望ましいという  
今後木材調達を調整したい

瀬口: プロポーザルは事業者選定  
出来るだけ史実に忠実に

古阪: 技術提案交渉方式は危険だといっていた  
元々が国産材  
選ばれた業者がどうするか、  
逸脱しないように  
不可抗力  
きつく「不可抗力はだめ」言った  
法外な金になってはいけない  
平城宮がヒノキ 競争になっている  
発注者、発注支援者、竹中が相談して  
こちらから強い立場にはない

瀬口: 法外なことではなければ出来るだけ史実に忠実に  
選定するときに外材でもいい  
木曽ヒノキがある  
なくても史実に忠実だが、より良いものを

麓: あまりにも木曽ヒノキに行き過ぎている  
たしかに歴史的にはそうだが、林業の状況  
木曽ヒノキブランドはあっても、当時と同じ品質というわけではない  
良質なヒノキが安ければそちらをどんどん使って  
ある部分には木曽ヒノキはよいが、限定しない方がよい

小野: 座長が「認識の違い」きつい言い方  
プロポーザル  
状況が変われば報告してここです承すればよし  
対立するような発言は控えて

瀬口: 認識の違い  
木曽が使われていない

11:00

瀬口: 屋根

竹中:屋根の防水

麓:土瓦 軒先き捨て銅板

軒先き 壁際の雨漏りを心配するのはわかるが、

姫路城 敷き込み銅板 唐破風

全ての軒先きに捨て銅板をやっているか確認を

唐草瓦の上に引いてある

ここまでする必要はあるかどうか

50年程度は持ちそう

銅板はルーフィングはやむを得ない

三浦:防水仕様は異論がない

土瓦 間違っている

化粧垂木の上 作る気はあるか

竹中:つくるきはあるが書いていない

三浦:防弾壁 上下逆ではないか

竹中:類例を見たい

三浦:今後検討を

瀬口:他には

小野:現在の技術を応用して

史実に忠実に、現代の技術を加えて

ベストの形を

最小限の銅板でなくても良いと思っている

瀬口:銅瓦 ルーフィングで異論なし

土瓦 もう一回検討を

マイナスがあるかどうか

柿葺 銅板入ると欠ける

問題がなければこれで

次の昭和実測図にないものを

11:15

竹中:資料4 昭和実測図にないもの

建物の要素を整理した

金城温故録にあるもの

ガラス乾板写真にあるもの

1階、地階 井戸を復元する

小天守窓復元したい

大天守5階の天井金具

中央の手すり 近代につけたと推定

写真の形状では復元しない

別途、現代のバリアフリー、運用の視点で負荷手すりの設置範囲・形状を検討する

11:26

瀬口:質問を

麓:設定年代 宝暦の修理の後

その状態に天守をできるだけ復元する

耐震診断で付加

その後つけられたのは、復元とは切り離して、展示物としてつけたほうがよければつける

瀬口:他はないか

基本的に宝暦期 よいのではないか

お祓いふだ 検討課題

瀬口:議事は終わった

全体を通して何かあるか

なければ終わり

蜂谷:ありがとう

名古屋城天守閣整備を進める

11:29 終了